○政策事業調書

資料３－１

課名等	まちづくり推進課

事業名：いまかね雇用創出事業

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	16	地方創生事業費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	300
12. 役務費	400
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	13,700
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	14,400

1 目的、期待される効果

本町の産業の強化を図るため、企業規模や創業段階に応じた段階的な支援など企業ニーズに応じたインセンティブの充実が重要であることから、地域の安全性をアピールした企業及び個人企業者は誘致を図る等、足腰の強い地域産業構造の構築を図ることを目的とする。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

人口減少対策においては、地域の活力と持続可能性の基礎となる産業と雇用の創出は必要不可欠となっている。

企業（起業）支援により産業基盤の強化が図られ、また、空き家・空き店舗を低コストで魅力的な空間としてリフォームし活用を図ることにより、まちなかに賑わいを取り戻すことに繋がる。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　　今金町

② 事業内容及び積算内訳

・ワーキングステイ@いまかね推進事業　＝　起業家誘致・支援事業
・地域再生プロジェクト事業　＝　商店街活性化対策事業
・産業基盤整備促進支援事業　＝　空き家・空き店舗活用対策事業

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　（有）　・　無

② 施策体系　あんしん・今金　～安全・安心な暮らし～

③ 項目　　行政経営

④ 細項目　　まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

Ｈ２８年度　→　地方創生加速化交付金を充当
（国の２７年度補正予算）

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H28	H29	H30	H31	H32
予算額	14,400	-	-	-	-

※H27繰越明許

6 時限について

① 事業期間

平成28年度　～　平成28年度

② 時限設定

・事業見直し年次　　平成　　年度予算編成時
・事業終了年次　　平成　28　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等
国庫支出金	14,400	地方創生加速化交付金	10／10
道支出金			
地方債			
その他			
一般財源			
合計	14,400		

備考欄

○政策事業調書（新規用）　資料３－２

課名等	まちづくり推進課 保健福祉課

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	16	地方創生事業費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	6,000
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	6,020
19. 負担金補助及び交付金	3,500
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	15,520

事業名：ひやまバリアフリーレジャー整備事業（檜山振興局連携事業）

1　目的、期待される効果

物理的な障壁により活動に制限がある方が不自由なく観光できることに重点的に取り組み、観光振興による地域活性化に加えて、地域ぐるみでハード及びソフトの両面でバリアフリー化の検討を進めることで、障がい者だけでなはく高齢者や子育て世帯などすべての人にやさしいまち、かつ固有で多様なバリエーションを備えた共生社会の構築を図る。

2　事業の背景・沿革

① 背景・沿革

・平成２８年３月の北海道新幹線開業に伴い、障がい者トイレ等、アメニティが充実した新幹線を利用した北海道への来訪が容易になる。また、観光庁による調査結果から、バリアフリー化された観光は全国で不足していることから、自治体単位の地域資源を管内全体でパッケージ化し、障がい者等にとってフルシーズン楽しめるメニューを用意することで、新幹線開業効果と相まって、道内外の障がい者等のエリア観光への期待が高まる。

② 根拠法令

3　事業概要について

① 事業主体　　町（檜山振興局広域連携事業）

② 事業内容及び積算内訳

・実証点検事業

①クアプラザピリカのバリアフリー化及びウインターレジャーへの参加体験ができるような環境整備（昇降機、障がい者用トイレ等の備品購入費）　6,020千円

②クアプラザピリカのバリアフリー化（トイレ洋式化修繕料）　6,000千円

③障がい者等を対象としたモニターツアー（補助金）　3,000千円

・人材育成事業

③施設職員、事業関係者向け研修（補助金）　500千円

4　総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　（有）・無

（無の場合は理由）

② 施策体系　第３節　はつらつ

③ 項目　１５　観光・交流・定住

④ 細項目　７０　地域資源を活かした観光・交流の推進

5　財政計画について

① 今後の計画・目標

平成２７年度国の補正予算活用

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H28	H29	H30	H31	H31
予算額	15,520	-	-	-	-

※H27繰越明許費

6　時限について

① 事業期間

平成28年度　～　平成28年度

② 時限設定

・事業見直し年次　平成　年度予算編成時

・事業終了年次　平成　28　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等
国庫支出金	15,520	地方創生加速交付金	10/10
道支出金			
地方債			
その他			
一般財源			
合計	15,520		

方向性及び検証内容(※行革担当記載欄)

○政策事業調書

資料３－３

課名等	まちづくり総合戦略室

事業名：檜山管内７町と東京都特別区との連携事業

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	16	地方創生事業費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	920
10. 交際費	
11. 需用費	1,000
12. 役務費	100
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	7,822
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	9,842

1　目的、期待される効果

東京都特別区との連携については、檜山管内７町が連携し、資源の発掘・磨き上げ商品化に向けた検討等を実施し、一過性で終わらないマーケティング戦略を作成し、檜山管内の情報発信、物産の販路拡大、人的交流及び移住・定住の促進を図り、檜山管内経済に波及効果をもたらすことを目的とする。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

檜山管内７町は、急激に進行する人口減少等により地域経済の衰退が進行し地域の存続が危ぶまれている状況であるため、交流人口の拡大等により移住定住の促進及び地域の維持・創出が重要な課題となっている。
個々の町での大都市との連携及び交流人口の拡大等の取組については、施設等の関係から困難な状況であったため、７町が連携し地域課題を解決することが重要となる。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　檜山管内７町　（事務局：檜山広域行政組合）

②　事業内容及び積算内訳

- 檜山管内体験ツアー　＝　東京都大田区民を対象
- 檜山の食・観光フェア　＝　東京都大田区民フェスタ
- 檜山プロモーションビデオ制作によるＰＲ
- 連携パンフレット多言語化、ＨＰ運用経費
- リーダーシップ育成研修開催

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　（有）　・　無

②　施策体系　第３節　はつらつ・今金　～力強い地域産業～

③　項目　　１５　観光・交流・定住

④　細項目　　７０　地域を活かした観光・交流の推進

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

Ｈ２７年度　→　地方創生先行型交付金を充当
Ｈ２８年度　→　地方創生加速化交付金を充当（国の２７年度補正予算）
Ｈ２９年度　→　地方創生推進交付金を充当予定

②　今後の予算額　　（単位：千円）

年度	H27	H28	H29	H30	H31
予算額	500	9,842	2,000	-	-

※H27繰越明許費

6　時限について

①　事業期間

平成27年度　～　平成29年度

②　時限設定

・事業見直し年次　　平成　　年度予算編成時
・事業終了年次　　平成　29 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等
国庫支出金	8,922	地方創生加速化交付金	10／10
道支出金			
地方債			
その他			
一般財源	920		
合計	9,842		

備考欄

○政策事業調書　**資料３－４**

課名等	まちづくり推進課

事業名：**北渡島檜山４町　食と観光連携事業**

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	16	地方創生事業費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	5,950
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	5,950

1　目的、期待される効果

八雲町・長万部町・せたな町・今金町が連携し、域内の資源を活用した「食」と「観光」を切り口とした取り組みによって経済活性化を図るとともに、事業の実施を通じた域内人材の育成や民間事業者等による連携を促進し、それを持続させるための域内ネットワーク構築を目指す。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

平成２４年度から取り組んできた北渡島檜山、南後志８町村（北海道新幹線開業を見据えた広域観光連携協議会）による観光の受入体制づくりを踏まえ、８町村から近隣する４町へのエリアシフト、新たに「食（物産）」分野を付加し「観光」とリンクさせることで実践的な手法へステップアップした取り組みを集中的に展開することによって広域的な経済効果の一層の向上を目指す。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　北渡島檜山４町（事務局：八雲町）

②　事業内容及び積算内訳

①素材の発掘　　域内展示会・テストマーケティング実施、物産カタログ作成
②商品磨き上げ　専門家相談会・研修会の実施、商談会への参加
③販路拡大　　観光イベント等と連動した行事におけるＰＲ
　　東アジア圏をターゲットとしたＰＲ
④誘客促進　　誘客キャンペーンの実施、観光ガイドブックの作成
⑤基礎調査　　新幹線開業に伴う観光動態調査の実施
⑥共通プログラムの開発
⑦プロモーション

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　（有）　・　無
（無の場合は理由）

②　施策体系　第３節　はつらつ・今金　～力強い地域産業～
③　項目　　１５　観光・交流・定住
④　細項目　　７０　地域を活かした観光・交流の推進

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

H27　⇒　地域づくり総合交付金を活用（補助率　10/10）
H28　⇒　地域づくり総合交付金を活用（補助率　10/10）
H29　⇒　地域づくり総合交付金を活用予定

②　今後の予算額　（単位：千円）

年度	H27	H28	H29	H30	H31
予算額	1,850	5,950	2,802		

※H27繰越明許費

6　時限について

①　事業期間

平成27年度　～　平成29年度

②　時限設定

・事業見直し年次　　平成　　年度予算編成時
・事業終了年次　　平成　29　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容(※行革担当記載欄)
国庫支出金				
道支出金	5,950	地域づくり総合交付金（地方創生加速化交付金を活用）	10/10	
地方債				
その他				
一般財源				
合計	5,950			